

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オールアバウト

コード番号 2454

URL <https://corp.allabout.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 江幡 哲也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 森田 恭弘

(TEL) 03-6362-1300

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>

決算説明会開催の有無 : 有 (決算説明動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,562	△0.7	△149	—	△147	—	△164	—
2025年3月期第3四半期	11,645	△0.3	△172	—	△169	—	△152	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △148百万円(-%) 2025年3月期第3四半期 △144百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△11.69	—
2025年3月期第3四半期	△10.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	8,471	4,299	45.9	275.79
2025年3月期	8,410	4,447	48.1	289.50

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 3,886百万円 2025年3月期 4,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において中間期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,700	4.7	100	825.9	100	854.6	0	—	0.00	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	14,223,916株	2025年3月期	14,103,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	130,589株	2025年3月期	118,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	14,045,971株	2025年3月期 3Q	13,946,394株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び説明動画の入手方法）

2026年3月期第3四半期決算は、当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）において動画を掲載する予定であります。この四半期決算説明動画で使用する資料についても、同日、当社ウェブサイト（<https://corp.allabout.co.jp/ir/>）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善等を背景に、景気が緩やかに回復しました。しかしながら、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクに加え、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等に対して懸念があり、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような経営環境下で当社グループは、メディア&デジタルマーケティング事業とトライアルマーケティング&コマース事業を中心に、「個人を豊かに、社会を元気に。」というミッションのもと、総合情報サイト「A11 About」や日本最大級のお試しサービス「サンプル百貨店」など、ユーザー やクライアントの皆様にとって最適なソリューション及びサービスを提供すべく、グループ経営を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,562百万円(前年同四半期比0.7%減)、営業損失は149百万円(前年同四半期は営業損失172百万円)、経常損失は147百万円(前年同四半期は経常損失169百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は164百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失152百万円)となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

(マーケティングソリューションセグメント)

当セグメントでは、検索流入減少の影響等によりメディア事業が軟調に推移いたしましたが、拡大するインバウンド市場を背景にグローバルマーケティング事業が伸長し、売上・利益の取り込みに貢献いたしました。また、「PrimeAd」等の戦略投資を継続しております。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は1,336百万円(前年同四半期比2.7%増)、セグメント損失は168百万円(前年同四半期はセグメント損失213百万円)となりました。

(コンシューマサービスセグメント)

当セグメントにおける売上高は、第2四半期まで堅調に推移したものの、第3四半期に入ってサプライチェーンのシステム課題や国内外ECプラットフォーマーの販促強化の影響を受けました。また、利益面においては、売れ筋商品の獲得などにより販売単価が改善し粗利率が上昇いたしました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は10,121百万円(前年同四半期比2.1%減)、セグメント利益は362百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は5,391百万円となり、前連結会計年度末に比べ607百万円減少いたしました。これは主に未収入金が253百万円、未成制作費が30百万円増加した一方、現金及び預金が515百万円、売掛金が289百万円、商品及び製品が97百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は3,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ668百万円増加いたしました。これは主にのれんが299百万円、ソフトウェア仮勘定が182百万円、建物が22百万円、投資有価証券が138百万円、関係会社株式が9百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加いたしました。これは主に未払金が313百万円、未払費用が12百万円、前受金が68百万円増加した一方、買掛金が167百万円、未払法人税等が14百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は88百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が2百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ147百万円減少いたしました。これは主に譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金が21百万円、資本準備金が21百万円増加した一方、41百万円の配当実施及び親会社株主に帰属する四半期純損失を164百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日の「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,632,761	1,116,974
売掛金	1,782,412	1,492,654
未収入金	2,078,102	2,332,005
商品及び製品	385,401	287,652
未成制作費	77	30,795
前払費用	92,147	97,441
その他	31,666	36,161
貸倒引当金	△3,100	△2,152
流动資産合計	5,999,469	5,391,532
固定資産		
有形固定資産		
建物	290,545	312,696
減価償却累計額	△77,352	△94,586
建物（純額）	213,193	218,110
工具、器具及び備品	86,061	88,376
減価償却累計額	△60,376	△62,759
工具、器具及び備品（純額）	25,685	25,617
有形固定資産合計	238,878	243,727
無形固定資産		
のれん	1,219	300,711
ソフトウェア	858,671	860,272
ソフトウェア仮勘定	81,148	263,656
その他	522	522
無形固定資産合計	941,562	1,425,162
投資その他の資産		
投資有価証券	558,510	697,202
関係会社株式	90,037	99,118
破産更生債権等	1,810	1,810
差入保証金	319,848	333,972
繰延税金資産	229,536	244,849
その他	33,088	35,980
貸倒引当金	△1,810	△1,810
投資その他の資産合計	1,231,022	1,411,124
固定資産合計	2,411,463	3,080,014
資産合計	8,410,932	8,471,547

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,054,217	886,747
未払金	2,248,792	2,562,575
未払費用	393,218	405,636
未払法人税等	30,700	15,745
未払消費税等	35,142	22,185
前受金	83,552	152,074
預り金	19,235	24,372
賞与引当金	—	2,427
その他	12,817	11,838
流動負債合計	3,877,676	4,083,601
固定負債		
資産除去債務	83,520	86,224
その他	2,459	1,944
固定負債合計	85,979	88,169
負債合計	3,963,655	4,171,771
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,318,616	1,339,972
資本剰余金	1,897,166	1,876,566
利益剰余金	998,430	834,236
自己株式	△167,916	△167,916
株主資本合計	4,046,296	3,882,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,452	3,898
その他の包括利益累計額合計	2,452	3,898
新株予約権	6,130	6,130
非支配株主持分	392,397	406,888
純資産合計	4,447,276	4,299,775
負債純資産合計	8,410,932	8,471,547

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	11,645,256	11,562,512
売上原価	4,619,449	4,266,086
売上総利益	7,025,807	7,296,426
販売費及び一般管理費	7,198,295	7,446,401
営業損失 (△)	△172,488	△149,975
営業外収益		
受取利息	1,903	2,698
受取配当金	3,000	4,000
持分法による投資利益	8,251	9,080
その他	3,013	5,646
営業外収益合計	16,167	21,425
営業外費用		
投資有価証券評価損	3,321	9,022
消費税等差額	4,958	7,293
譲渡制限付株式関連費用	3,482	2,397
その他	1,690	528
営業外費用合計	13,452	19,241
経常損失 (△)	△169,772	△147,791
特別利益		
倉庫移転費用戻入益	4,834	—
事業譲渡益	4,027	—
その他	953	11
特別利益合計	9,815	11
特別損失		
固定資産除却損	0	870
投資有価証券評価損	2,995	—
特別損失合計	2,995	870
税金等調整前四半期純損失 (△)	△162,952	△148,650
法人税等	△17,131	1,052
四半期純損失 (△)	△145,821	△149,703
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,882	14,490
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△152,703	△164,193

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純損失(△)	△145,821	△149,703
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,402	1,446
その他の包括利益合計	1,402	1,446
四半期包括利益	△144,418	△148,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△151,301	△162,747
非支配株主に係る四半期包括利益	6,882	14,490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マーケティ ングソリュ ーション	コンシュー マサービス	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,301,824	10,343,432	11,645,256	—	11,645,256	—	11,645,256
外部顧客への売上高	1,301,824	10,343,432	11,645,256	—	11,645,256	—	11,645,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,436	110	29,546	—	29,546	△29,546	—
計	1,331,260	10,343,542	11,674,802	—	11,674,802	△29,546	11,645,256
セグメント利益又は損失(△)	△213,413	362,378	148,964	—	148,964	△321,452	△172,488

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△321,452千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	マーケティ ングソリュ ーション	コンシュー マサービス	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	1,336,606	10,121,339	11,457,945	104,566	11,562,512	—	11,562,512
外部顧客への売上高	1,336,606	10,121,339	11,457,945	104,566	11,562,512	—	11,562,512
セグメント間の内部売上高又は振替高	24,369	491	24,861	—	24,861	△24,861	—
計	1,360,976	10,121,830	11,482,806	104,566	11,587,373	△24,861	11,562,512
セグメント利益又は損失(△)	△168,631	362,783	194,151	22,352	216,504	△366,479	△149,975

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、銀行代理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△366,479千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、株式会社みらいバンクを連結子会社化したことに伴い、報告セグメントに含まれない事業セグメント「その他」を新たに追加しております。なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	279,690千円	300,945千円
のれんの償却額	2,232千円	19,847千円

(企業結合等関係)

(株式会社みらい銀行の株式取得による企業結合)

当社は、2025年5月23日開催の取締役会において、株式会社みらい銀行の発行済株式の全てを取得し、子会社化することを決議いたしました。当該契約に基づき、2025年5月26日を株式譲渡実行日として、当該株式の全てを取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業 株式会社みらい銀行

事業の内容 銀行代理事業、金融に関する情報サービス提供事業

(2) 企業結合を行った主な理由

株式会社みらい銀行は、銀行代理業を主な事業とする金融サービス仲介業者です。住信SBIネット銀行株式会社との提携を通じて「みらい銀行」ブランドで各種金融商品・サービスを提供しており、主に住宅ローンの手数料収入を収益源に事業拡大を図っております。

当社グループでは、祖業である「All About」を中心としたインターネットメディアビジネスなどで構成されるマーケティングソリューションセグメント、そしてサンプル百貨店やdショッピングなどeコマース系の事業で構成されるコンシューマーサービスセグメントという2つの事業セグメントに加えて、当社グループの中長期的な成長に資する新たな事業の柱とすべく、お金・健康・キャリア・ホームといった人生の基盤となるライフアセットマネジメント領域における事業開発投資も行っております。

同社を当社グループに迎えることで、ライフアセットマネジメント領域における新たな事業の柱が生み出され、中長期的な成長にもつながるものと判断し、株式を取得することいたしました。

(3) 企業結合日

2025年5月26日（株式取得日）

2025年5月31日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率 —%

追加取得した議決権比率 100.0%

取得後の議決権比率 100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価とした株式の取得により被取得企業の議決権を100.0%取得したことによります。

2. 第3四半期連結会計期間に係る第3四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年6月1日から2025年12月31日

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	414,700千円
取得原価		414,700千円

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用	24,500千円
-----------	----------

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

319,339千円

なお、のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

(2) 発生原因

被取得企業の資産及び負債を企業結合日の時価で算定した額（純額）が、取得原価合計を上回ることにより発生しております。

(3) 償却方法及び償却期間

のれんの償却については、効果の発現する期間（10年）を合理的に見積り、当該期間にわたり均等償却しております。

6. 取得原価の配分

当第3四半期連結会計期間末において、企業結合日における識別可能な資産及び負債の特定並びに時価の算定が未了であり、取得原価の配分が完了していないため、その時点で入手可能な合理的情報に基づき暫定的な会計処理を行っております。

7. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	136,717千円
固定資産	8,910千円
資産合計	145,628千円
流動負債	50,267千円
負債合計	50,267千円